

アグリ ワーク ポイント AGRI WORK POINT



茶指導販売課 菊川 響



低温に注意しましょう

いよいよ冬本番です。今年の茶園の様子はいかがでしたか。

気象状況やその影響による病害虫の発生量・生育状況などを振り返り、翌年の管理に繋げることが収量・品質向上のポイントになります。

寒害を受けやすい茶園

先月号では**寒害**とその対策について紹介しましたが、条件によっては被害を受けやすくなることもあります。以下のような茶園では、特に注意が必要です。

- (1) 冷たい空気が溜まりやすい**低地**の茶園
- (2) 気温上昇の影響などによって**再萌芽**した茶園
- (3) 山間地などの標高が高く、気温が下がりやすい茶園

(4) 病害虫の被害を多く受けている茶園など
また、長期予報によると12月の平均気温は例年よりもやや高くなることが予想されますが、急な低温によって被害を受けることもあるため、注意が必要です。

茶園観察のポイント

J A 大井川管内では例年、12月初旬に生産技術向上・情報共有などを目的に、**茶園共進会**を開催しています。その中の審査項目を一部紹介しますので、各茶園での管理を見直してみましよう。

【栽培管理】

病害虫防除・除草などは茶園を観察し適期に行いましよう。また、整枝作業などは気象状況をよく見て行うことが大切です。

【土づくり】

畝間の耕うんや有機物の施用などは、生育に影響することがあります。

【根の生育】

根量が多く、みずみずしさがあり、広く分布していると肥料を吸収しやすくなるため収量・品質などにも影響することがあります。